

2021年度事業計画

1. 会議計画

主要な会議である総会、諮問会、理事会、運営審議会および賞選考関連会議は以下のとおりとする。

1.1 総会

第49回定時社員総会を2021年5月31日(月)にオンラインで開催する。主要な議案は、2020年度事業報告と収支決算報告、2021年度事業計画と事業予算についてである。

1.2 諮問会

第10回諮問会を2021年4月28日(水)にオンラインで開催する。諮問会では上記総会に提出する議案について報告し、幅広く諮問員に意見を伺う。

1.3 理事会および運営審議会

理事会を2回(第120, 121回)、運営審議会を2回(第29, 30回)開催し、総会および諮問会への提出議案の作成、各事業の充実、財政基盤の強化等について審議する。

1.4 賞選考委員会

第26回賞選考委員会を第120回理事会開催前に開催する。賞選考委員会において第45回レーザー学会業績賞(論文賞、進歩賞)及び奨励賞を審議する。学術講演会第41回年次大会の論文発表賞については年次大会実行委員会が選考を行い、結果を賞選考委員会に報告する。賞選考委員会は以上の選考結果を審議し、第120回理事会及び第10回諮問会に報告する。また、第14回産業賞選考委員会を開催し、優秀賞、奨励賞及び貢献賞につき審議する。

第42回年次大会の論文発表賞の受賞通知を2022年2月末に実施する。第14回産業賞の授賞者を2022年4月上旬に学会ホームページにて告知する。

なお、フェロー制度、上級会員制度において、昨年度応募のあった候補選考を第120回理事会開催前に第7回称号審査委員会にて行う。

2. 事業、行事計画

実施する事業、行事計画は以下のとおりとする。

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「レーザー研究」を年12冊(第49巻4～12号および第50巻1～3号)、毎月中旬に発行する。このため、編集委員会を12回(第493～504回)開催し、企画編集、進捗フォロー、次号ゲラ刷りのチェック等を実施する。開催日は毎月中旬とし、原則として東京と大阪で交互に開催する。

CLEO/QELS 2021等各種国際会議に参加する会員からの情報収集により、レーザー技術および関連技術に関する海外調査を実施し、その結果を会誌「レーザー研究」に掲載する。

2.2 研究委員会および研究会

研究委員会を4回(第250～253回)、研究会を11回(第552～562回)開催する。研究会については単独開催研究会を8回、他学会との共催研究会を3回開催する。単独開催の研究会では資料「研究会報告」を作成し、研究会当日に参加者に販売するとともに、年間購入予約者に頒布する。

2.3 技術専門委員会

技術専門委員会14件(継続10件、新規4件)を実施する。

学会HP上に各委員会の設立・継続にあたっての目的を明らかにし、賛同者を募り学会内コミュニティ形成のための基盤作りに努める。

また、2022年3月に活動の節目を迎えるテーマが2テーマあるため、技術専門委員会の継続が研究会への展開についても検討するよう働きかける。

2.4 学術講演会年次大会

第42回大会は、併設展示会「Laser Solutions 2022」と併せ、2022年1月12日(水)～14日(金)の平日に、神戸国際会議場(神戸市中央区)で開催する。魅力あるシンポジウムを企画し、会員の拡大にも繋げていく。

2.5 国際交流

“Optics & Photonics International Congress(OPIC) 2021”は原則オンラインで開催される(2021年4月19日(月)～23日(金))。11の専門会議が開催され、うち”Advanced Lasers and Photon Sources Conference(ALPS)”を当学会が、”Optical Wireless and Fiber Power Transmission Conference(OWPT)”を光無線給電技術専門委員会が主催する。

2.6 レーザーセミナー

レーザー技術の基盤の拡大と普及を目指して下記セミナーを開催する。

(1) レーザー特別セミナー、レーザー安全セミナー

本技術セミナーは、2021年6月30日～7月2日に開催の“レーザーEXPO2021”に併設して、レーザーの基礎に重点を置くとともに、レーザー応用技術、産業界への普及例、および最新のトピックスを網羅した特別セミナーを開催する。

また、昨年度に引き続き学会主催のレーザー安全セミナーを開催する。例年11月に開催される“光とレーザーの科学技術フェア”において同時開催を予定。

(2) レーザー夏の学校(レーザー学会共主催、日本光学会協賛)

光・レーザー分野の研究に携わる学生及び若手研究者の交流、研究意識向上を目的として、当学会として教育及び学術交流の観点から本行事に支援を行う。支部活動の一環としても支援を強化する。

2.7 展示会

下記の展示会を開催する。

(1) レーザーEXPO 2021

レーザー機器の展示会“レーザーEXPO2021”をパシフィコ横浜展示ホール(横浜市)にて開催(2021年6月30日(水)～7月2日(金))。

(2) Laser Solutions 2022

第42回年次大会において、レーザー機器、書籍等の展示会“Laser Solutions 2022”を併催。

2.8 表彰、認定、賞推薦・助成推薦

(1) 表彰

第45回レーザー学会賞(業績賞・論文賞、業績賞・進歩賞、奨励賞)、学術講演会第41回年次大会論文発表賞および学会活動に貢献のあった者の表彰を行う。これと併せて、レーザー関連技術及び事業において顕著な功績のあった者を表彰するレーザー学会産業界賞の表彰を「レーザーEXPO2021」会場にて行う。

(2) 上級会員/フェロー認定

申請のあった候補者は称号審査委員会で審査され、第120回理事会に諮られる。承認された会員各位に関しては本人同意を得たのちに、フェローについては定時総会にて認定書授与を検討する。

(3) 賞推薦、助成推薦

レーザー学会会員に各種学術賞、研究助成案件を広く案内し、研究業績から優れた成果を上げたと認められる方、および学会に対し貢献のあった方を、学会として積極的に推薦していく。

2.9 支部活動の展開

支部活動の活性化による地域の状況に応じた会勢拡張と位置付けて、国内6支部にて、地域の会員へのレーザー関連学術情報提供サービス推進のため、単独および他学会支部との共催によるセミナー、研究会、講演会開催、情報交換、支部表彰等の活動を推進する。

2.10 関連学協会等との連携および協力

国内他学会、研究団体および関連業界との共催、協賛、後援による研究会、講演会等の開催を通じて、関係団体との連携、協力を推進する。ジョイントシンポジウムの取り組みは、異分野の学協会にも拡げ積極的に進める。

2.11 特別事業計画

1973年4月13日にレーザー懇談会として発足してから、2023年4月13日に学会創立50周年を迎えるため、創立50周年記念行事準備委員会等で検討を進める。また2025年開催予定の大阪万博についても、学会としてどのような貢献ができるかを検討する。

なお、不測の事態により、上記活動の実施が難しくなった場合は、検討委員会等を立上げ、柔軟な対応を図る。